

## 音源の比較試聴(23)

### —イムジチのヴィヴァルディ調和の幻想—

#### 1. 始めに

前報(22)に引き続き、各種音源の再生経路に関するアースアキュライザーを含む種々の対策の効果の確認のため、各種音源の比較試聴を実施します。

#### 2. 音源の比較試聴の試聴方法と音源

各種音源の再生経路に関するアースアキュライザーを含む種々の再構成はアースアキュライザーの活用(6)で述べたとおりで、さらにレコードアンチスタティックと Magic Mat II、スピーカーアキュライザーへの Crystal Ep-G などの対策を追加しています。今回もそれらの対策の効果をも、音源を替えて総合的に確認していきます。音源は、下記の音源のイムジチのヴィヴァルディ調和の幻想を聴いていきます。同じイムジチのヴィヴァルディ四季で、アナログと CD、収録年代、アナログ盤のカッティングの違いなどを比較していきます。

アナログ盤

**PHILIPS SFX-7711**

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想 No.6・No.8・No.11・No.12  
イムジチ

**PHILIPS PL-1001**

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想 No6 第 1 楽章  
調和の幻想 No11 第 2 楽章  
調和の幻想 No8 第 1 楽章  
調和の幻想 No9 第 3 楽章

イムジチ

**PHILIPS 6599-125**

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想 No1・No.2・No.3・No.4  
イムジチ

**PHILIPS 6599-126**

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想 No5・No.6・No.7・No.8  
イムジチ

**PHILIPS 6599-127**

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想 No9・No.10・No.11・No.12  
イムジチ

CD

## PHILIPS UCCP-3044/5

アントニオ・ヴィヴァルディ 調和の幻想  
イムジチ

### 3. 音源の比較試聴の試聴結果

前報(23)では、ヴィヴァルディの四季でしたが、今回は調和の幻想です。こちらも前報(23)同様、オランダ盤があることに気がついていませんでした。

アナログの PHILIPS SFX-7711 盤は、国内盤です。RIAA、N、第4時定数 Mid で聴いていきましたが、明るく伸び伸びとした演奏です。

アナログの PHILIPS PL-1001 盤は、前報(23)でもそうであったように、以下のイムジチのヴィヴァルディ全集のサンプル盤で国内盤のようです。音質的には、上記の国内盤に似ています。

アナログの PHILIPS 6599-125 盤は、イムジチのヴィヴァルディ全集の一枚でオランダ盤です。前報(23)と同様、TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴いていきましたが、上記の国内盤と同じ曲はありませんでしたが、音質的には前報(23)と同様、解像度など、国内盤との違いが聴き取れます。

アナログの PHILIPS 6599-126 盤は、イムジチのヴィヴァルディ全集の一枚でオランダ盤です。前報(23)と同様、TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴いていきましたが、上記の国内盤と同じ曲と聴き比べますと、音質的には前報(23)と同様、国内盤と違い、明晰さ、解像度の違いが聴き取れます。試みに上記国内盤に戻しますと、やはり違いが分かります。さらにこのオランダ盤を RIAA、N、第4時定数 Mid で聴きますと、明晰さの片鱗はありますが、ピントがずれてしまいます。

アナログの PHILIPS 6599-127 盤は、イムジチのヴィヴァルディ全集の一枚でオランダ盤です。前報(23)と同様、TELDEC、R、第4時定数 Mid で聴いていきましたが、上記の国内盤と同じ曲と聴き比べますと、音質的には前報(23)と同様、国内盤と違い、明晰さ、解像度、質感などに違いが聴き取れます。試みに上記国内盤に戻しますと、やはり違いが分かります。さらにこのオランダ盤を RIAA、N、第4時定数 Mid で聴きますと、ピントがずれ、バランスが崩れてしまうことは同様です。

CD の PHILIPS UCCP-3044/5 は、1983年の収録で、6番、8番、11番、12番を聴いてみましたが、いずれも明るく伸び伸びとした切れの良い演奏です。TruPhaseの位相反転では、音が散漫になります。

### 4. まとめ

いずれをとっても、アースアクライザーの投入とそれに伴うアースラインの再構成、さらには AV ドーナツやレコードアンチスタティック、Magic Mat II などの結果、すべて効果がそれなりに現れ、メディアや演奏の違いや収録年代の違いも把握でき、

格落ちするような音源のフォーマットや再生経路はなくなったことが確認できました。今回の反省点は、前報(23)同様、ジャケットだけの記載事項だけでなく、盤のラベルもよくみて由来を判断しなければならないことです。

重要なことは、前提として盤の選別があり、良い盤に巡り合ったとしても、再生条件の設定を誤ると判断に狂いがでてくるということです、

以上